

第十三回

能

松風

友枝真也

佐々木多門

仕舞

天鼓

友枝昭世

狂言

蚊相撲

山本東次郎

湊花之能

えいかののう

おはなし

梅内美華子



令和8年

7月19日(日)午後2時開演/午後1時開場
十四世喜多六平太記念能楽堂

東京都品川区上大崎4-6-9 電話 03-3491-8813

※病気やその他やむをえない事情で出演者が変更になることがあります。



能
松風

シテ・松風の靈

ワキ・旅僧

宝生 欣哉

小鼓

成田 達志

笛

栗林 祐輔

シテ連・村雨の靈

友枝 真也

佐々木 多門

大鼓

大倉 慶乃助

休憩二〇分

仕舞
天鼓

友枝 昭世

狂言
蚊相撲

シテ大名

山本 東次郎

アト・蚊の精

山本 凜太郎

アト・太郎冠者

山本 則孝

おはなし 梅内 美華子

須磨の浦人 山本 泰太郎
後見 中村 邦生
佐藤 寛泰

地謡 大島 輝久
内田 成信
友枝 雄人
金子 敬一郎
狩野 了一
香川 靖嗣
友枝 昭世
大村 定

終了時間 五時過頃



友枝 真也

1969年東京生まれ。上智大学法学部法律学科卒業。故友枝喜久夫の孫。喜多流十五世宗家故喜多実入門、友枝昭世に師事。1972年仕舞「月宮殿」にて初舞台。1984年「経政」にて初シテ、2004年「狸々乱」、2008年「道成寺」、2011年「石橋（赤獅子）」、2019年「翁」を披く。「浪花之能」主宰。重要無形文化財総合指定。



山本 東次郎

1937年東京生まれ。三世山本東次郎の長男。1961年に國學院大學日本文学科卒業。1942年に山本会「癡痺」のシテで初舞台。1952年「三番三」、1958年「釣狐」、1971年「花子」を披く。1972年に「獅子舞」を復曲。四世山本東次郎を襲名。1992年芸術選奨文部大臣賞。1994年観世寿夫記念法政大学能楽賞。1998年に紫綬褒章。他受賞多数。2012年重要無形文化財各個認定（人間国宝）。日本芸術院会員。文化功労者。



梅内 美華子

1970年青森県生まれ。歌人。馬場あき子に師事、歌誌「かりん」編集委員。同志社大学文学部卒業。1991年角川短歌賞、2001年「若月祭（みかづきさい）」で現代短歌新人賞、2012年「エクウス」で芸術選奨文部科学大臣新人賞、葛原妙子賞。短歌研究賞。現代歌人協会理事。歌集歌書に「真珠層」「現代歌枕 歌が生まれる場所」「日本の美しい言葉辞典」「短歌 うたことば辞典」等。

蚊相撲（かずもう）

相撲が流行した頃、ある大名が相撲取りを召し抱えようと太郎冠者を遣いに出します。太郎冠者が連れて帰ってきたこの男、実は蚊の精。そうとも知らずに相撲を挑んだ大名は血を吸われてフラフラに。しかし相手の正体に気づいた大名は再びこの男に挑みますが……。

松風（まつかぜ）

須磨の浦に行き暮れた旅僧の前に松風村雨という蜚乙女（あまおとめ）の姉妹の靈が現れ、在原行平と過ごした日々の思い出を物語り、今も尽きせぬ恋慕の情を現します。前半の須磨の浦に照り輝く月光の描写と汐波の場が、後半の情念を流麗に際立たせ、また「立ち別れいなばの山の峰に生（お）ふる 松とし聞かばいま帰り来ん（在原行平・古今集）」をはじめ、勅撰集や源氏物語から多くの和歌を引き、平安古典を元に哀れと幽玄の世界を描き出した名曲です。

あらすじ

■チケットのご案内■

電話予約 4月20日(月) 10:00am～

ウェブサイト先行予約 友枝家公式ホームページ「友枝家の能」にて
4月18日(土) 7:00am～

6月中旬よりウェブにて事前講座を配信予定！



S席 9,000円
A席 8,000円
B席 7,000円
C席 4,000円

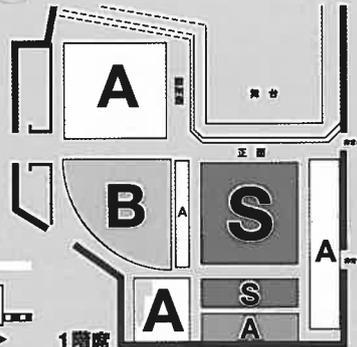
チケットの申し込み・お問い合わせ 浪花之能事務局

https://tomoeda-kai.com/ 03-3590-1802
またはウェブサイト「友枝家の能」(QRコードをご利用ください)からお申し込み・お問合せいただけます。

ARTS COUNCIL TOKYO

助成：アーツカウンシル東京【東京ライブ・ステージ応援助成】

会場 公益財団法人 十四世六平太記念財団
十四世喜多六平太記念能楽堂
〒141-0021
東京都品川区上大崎4-6-9 TEL:03-3491-8813
交通案内 JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線
ともに目黒駅より徒歩7分



※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。